

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年8月18日(2016.8.18)

【公開番号】特開2016-86431(P2016-86431A)

【公開日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2016-030

【出願番号】特願2015-251968(P2015-251968)

【国際特許分類】

H 04 W 52/06 (2009.01)

H 04 W 52/08 (2009.01)

H 04 W 52/10 (2009.01)

H 04 B 1/04 (2006.01)

【F I】

H 04 W 52/06

H 04 W 52/08

H 04 W 52/10

H 04 B 1/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月5日(2016.7.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線送受信ユニット(WTRU)において実行される方法において、

アップリンク(UL)リソース割当、電力制御(PC)補正コマンドおよび割り当てら

れた変調符号化セット(MCS)を示しているシグナリングを受信するステップと、

前記ULリソース割当の帯域幅、オープンループPC成分、クローズドループPC成分  
、および、オフセット値に関連したデルタ係数の組み合わせに基づいて、送信電力を決定  
するステップであって、

前記オープンループPC成分は、経路損失およびオープンループPCパラメータに基づいており、

前記クローズドループPC成分は、補正係数を含み、

前記補正係数は前記PC補正コマンドに基づいており、

前記オフセット値は前記割り当てられたMCSに関連している、決定するステップと

前記送信電力を適用するステップと  
を備えることを特徴とする方法。

【請求項2】

前記シグナリングは、ULグラントを含み、前記ULグラントは、ハイブリッド自動再送要求(HARQ)プロセスに関連付けられていることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記送信電力を適用する前記ステップは、  
ハイブリッド自動再送要求(HARQ)プロセスのタイミングに従って、前記送信電力  
を適用するステップを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

**【請求項 4】**

前記HARQプロセスのタイミングに従って、前記送信電力を適用する前記ステップは

ULグラントの受信に引き続く関連付けられた前記HARQプロセスの次の送信時間において、前記送信電力を適用することを含むことを特徴とする請求項3に記載の方法。

**【請求項 5】**

前記オープンループPCパラメータは、セル固有パラメータおよびWTRU固有パラメータの少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記補正係数は、最初のアップリンク送信において、ゼロであることを特徴とする請求項1に記載の方法。

**【請求項 7】**

最大送信電力レベルを示しているシグナリングを受信するステップをさらに備えることを特徴とする請求項1に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記最大送信電力レベルは、(i)前記WTRUの電力クラスおよび(ii)前記WTRUの能力の少なくとも1つに基づいていることを特徴とする請求項7に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記送信電力を適用する前記ステップは、前記送信電力が前記最大送信電力レベルを下回っている条件で、前記送信電力を適用するステップを含むことを特徴とする請求項7または8に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記送信電力を適用する前記ステップは、前記送信電力が前記最大送信電力レベル以上である条件で、前記決定された送信電力の代わりに前記最大送信電力レベルを適用するステップを含むことを特徴とする請求項7または8に記載の方法。

**【請求項 11】**

アップリンク(UL)リソース割当、電力制御(PC)補正コマンドおよび割り当てられた変調符号化セット(MCS)を示しているシグナリングを受信し、

前記ULリソース割当の帯域幅、オープンループPC成分、クローズドループPC成分、および、オフセット値に関連したデルタ係数の組み合わせに基づいて、送信電力を決定し、

前記オープンループPC成分は、経路損失およびオープンループPCパラメータに基づいており、

前記クローズドループPC成分は、補正係数を含み、

前記補正係数は前記PC補正コマンドに基づいており、

前記オフセット値は前記割り当てられたMCSに関連しており、

前記送信電力を適用するよう構成されたプロセッサ

を備えたことを特徴とする無線送受信ユニット(WTRU)。

**【請求項 12】**

前記シグナリングはULグラントを含み、前記ULグラントは、ハイブリッド自動再送要求(HARQ)プロセスに関連付けられていることを特徴とする請求項11に記載のWTRU。

**【請求項 13】**

前記プロセッサは、

ハイブリッド自動再送要求(HARQ)プロセスのタイミングに従って、前記送信電力を適用するよう構成されたことを特徴とする請求項11に記載のWTRU。

**【請求項 14】**

前記プロセッサは、

ULグラントの受信に引き続く関連付けられた前記HARQプロセスの次の送信時間に

おいて、前記送信電力を適用するよう構成されたことを特徴とする請求項 1 3 に記載の W T R U。

**【請求項 1 5】**

前記オーブンループ P C パラメータは、セル固有パラメータおよび W T R U 固有パラメータの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

**【請求項 1 6】**

前記補正係数は、最初のアップリンク送信において、ゼロであることを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

**【請求項 1 7】**

前記プロセッサは、最大送信電力レベルを示しているシグナリングを受信するよう構成されたことを特徴とする請求項 1 1 に記載の W T R U。

**【請求項 1 8】**

前記最大送信電力レベルは、( i ) 前記 W T R U の電力クラスおよび ( i i ) 前記 W T R U の能力の少なくとも 1 つに基づいていることを特徴とする請求項 1 7 に記載の W T R U。

**【請求項 1 9】**

前記プロセッサは、前記送信電力が前記最大送信電力レベルを下回っている条件で、前記送信電力を適用するよう構成されたことを特徴とする請求項 1 7 または 1 8 に記載の W T R U。

**【請求項 2 0】**

前記プロセッサは、前記送信電力が前記最大送信電力レベル以上である条件で、前記決定された送信電力の代わりに前記最大送信電力レベルを適用するよう構成されたことを特徴とする請求項 1 7 または 1 8 に記載の W T R U。